

「結核」のこと、知っていますか？

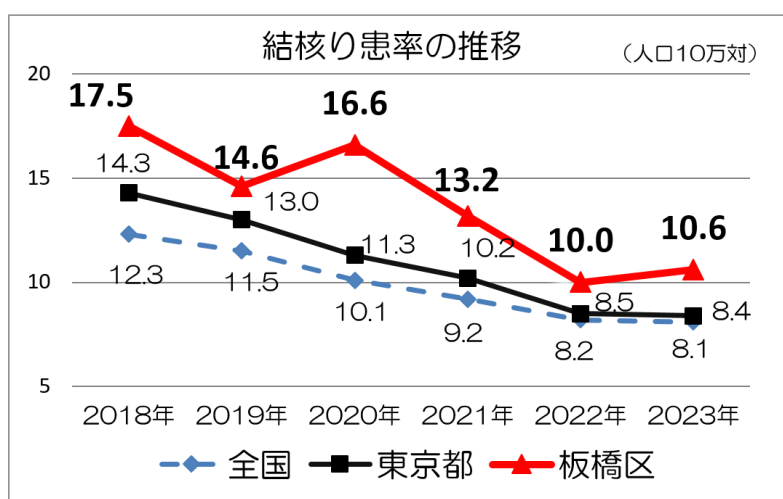
令和6年10月



「結核」という感染症について
正しく理解していただき、
早期発見・予防にご協力をお願いします。

＜結核とは＞

結核とは、「結核菌」が引き起こす感染症です。患者の咳・くしゃみで空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことで感染（空気感染）します。結核菌に感染したとしても、実際に発病するのは10人中1～2人と言われていますが、数十年後に発病する方もいます。



2023年の板橋区の
結核り患率は **10.6**
(人口10万対)

全国および東京都と比較すると、
り患率は増加しており、高い状況
が続いています。

2021年以降、全国の結核り患率（人口10万対）が10.0以下となり、ようやく欧米と並んで結核「低まん延国」（り患率10以下）となりました。
しかし、欧米先進国（例：2022年り患率 米国2.6、ドイツ5.1）と比較すると未だに高い状況にあり、現在も日本において主要な感染症の1つとなっています。

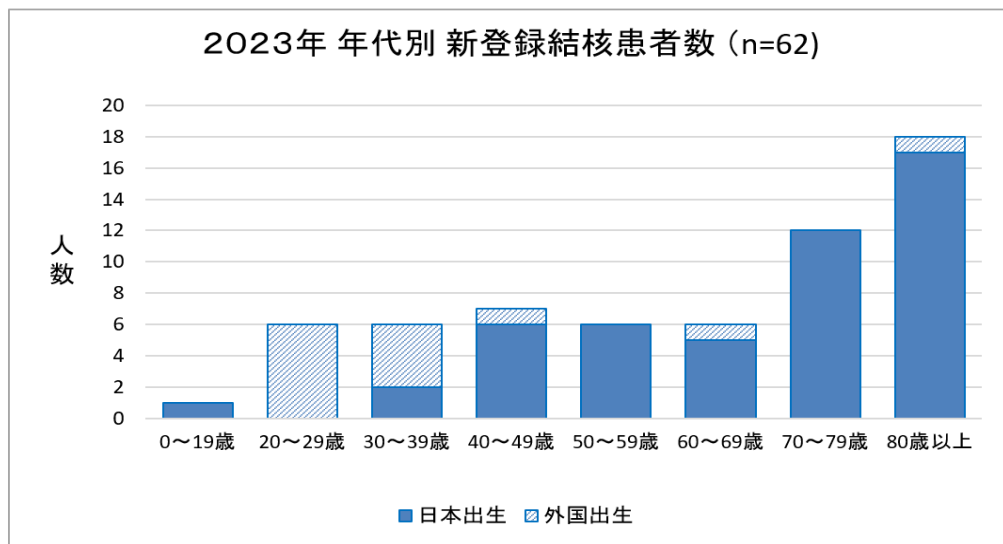


＜板橋区の新登録結核患者発生状況＞

各年1月～12月の状況(人)						
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
新登録結核患者	99	85	97	77	58	62
(再掲) かくたんとまつ 喀痰塗抹陽性者 (感染性が高く入院が必要な方)	37	39	35	34	27	17
(別掲)潜在性結核感染症 (結核菌に感染しているが、 発病はしていない人)	77	40	44	32	25	36

2017年以降、新登録結核患者数は年間100人を下回るようになりました。2022年は、新登録結核患者数が最も少なく、2023年も横ばいで推移し5年前と比較すると70%以下まで減少しました。

しかし、塗抹陽性患者（感染性が高く入院治療が必要な方）は新登録結核患者のうち約30%を占めており、感染性が高く入院が必要な方は変わらず多い状況です。



★板橋区の新登録結核患者の特徴は、高齢者や外国出生の若い世代が多いことです。



結核は、
「過去の感染症」ではありません！

＜結核の症状＞

初期症状は、咳・痰・発熱など、かぜの症状とよく似ています。

この他にも、からだがだるい・体重が減る・微熱が続くなどの症状があります。特に、高齢者は症状が乏しく、食欲がない、体重が減るなどの症状から結核の診断につながるが多いです。

＜早期発見と予防＞

年に1回は、胸部X線検査を受けましょう。胸部X線検査で異常所見を指摘された場合は、自覚症状が無くても精密検査を受けましょう。

また、咳・痰が2週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

抵抗力の弱い乳児には、BCG接種が予防に有効です。
区では、生後5～8か月での接種を推奨しています。
1歳の誕生日前までに接種を済ませるようにしましょう。



＜区民結核健康診断＞

胸部X線検査を受ける機会がない方には、区民結核健康診断の受診をお勧めしています。

詳細は区ホームページを
ご覧ください。



シールぼうや

複十字シール運動のイメージキャラクター
結核をなくすために闘っています

＜問い合わせ＞

板橋区保健所 予防対策課感染症対策係
03-3579-2321